



MAEDAKOSEN

# タイトロックⅡ<sup>®</sup> TL-410

接着系あと施工アンカー カートリッジ式注入タイプ



前田工織

## 製品の構造



ノズル



カートリッジ

使用樹脂：エポキシアクリレート樹脂  
内容量：410ml



ハンドガン



バッテリーガン

必要樹脂量、施工本数が多い場合はバッテリーガンの使用をおすすめします。

## 特長

- エポキシアクリレート樹脂の採用により低温時でも硬化します。
- スチレン等の揮発性物質を含まないため、嫌な臭いが少なくなっています。
- 横向き/上向き施工にも対応できる高粘度タイプの樹脂です。
- 硬化剤に着色しているため、混合具合が確認できます。
- あらゆるサイズのボルト、異形棒鋼に対応できます。
- 水道用資機材の浸出試験に合格しています。
- 「優良住宅部品認定基準 墜落防止手すりに使用する改修用アンカー」に関し、ベターリビングによるデータを取得しています。

浸出試験成績表

株式会社 内産環境管理株式会社

1. 試験品名 TL-410

2. 試験品目 TL-410

3. 試験品目番号 TL-410

4. 試験品目名 TL-410

5. 試験品目名 TL-410

項目	測定値	基準値
鉛	7.0	100 mg/L
銅	4.5	100 mg/L
亜鉛	3.5	100 mg/L
クロム	1.0	100 mg/L

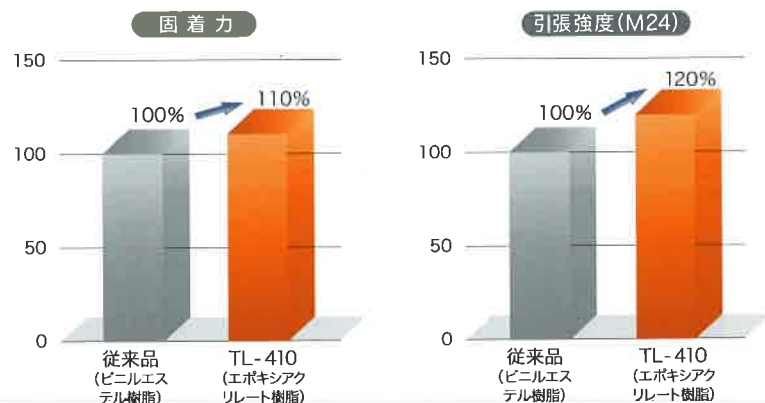
6. 試験品目名 TL-410

7. 試験品目名 TL-410

8. 試験品目名 TL-410

タイトロック II TL-410用樹脂の硬化物に関して、JWWA Z108に基づき浸出試験を行いました。この結果、厚生労働省 告示第15号 別表第2に記載されている項目のいずれも基準値以下でした。

タイトロック II TL-410は、採用樹脂の変更（ビニルエステル樹脂⇒エポキシアクリレート樹脂）、充填剤の変更などを施し、従来のタイトロック350と比較して、性能が向上しています。



◎ 従来品と比べ、固着力が約1割向上しています。

◎ 従来品と比べ、太径ボルトでの強度が約2割向上しています。

## 使用方法



キャップをはずす



カートリッジにノズルをしっかりと締め込む



ガンのプランジャーを引き出して、カートリッジをセットする



トリガーを引いて内容物を吐出する

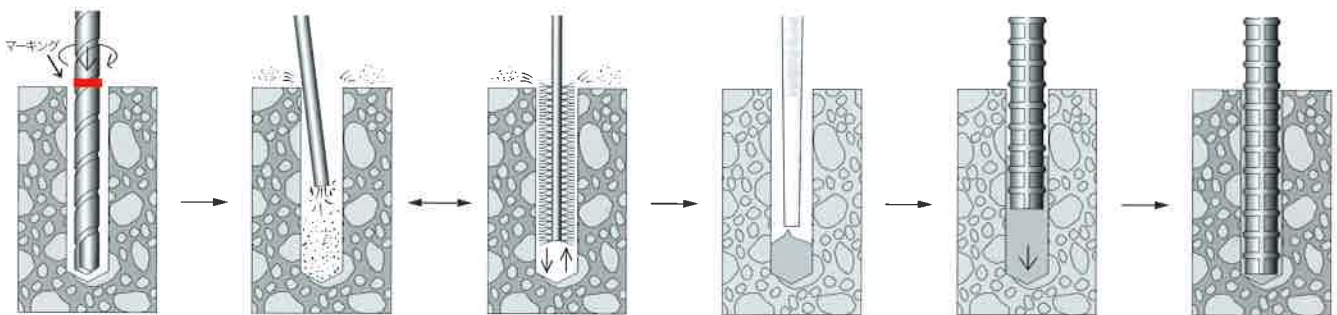


吐出の止め方  
トリガーを最前方まで戻すと内容物の吐出が止まります。また、トリガーをいきおいよく離すと反動で最前方まで戻ります

### 注意事項

- 吐出樹脂量はカートリッジラベルに表示してある目盛を目安にして下さい。(最小目盛=5ml)
- 未使用のカートリッジを使用時、またはノズルを交換した際には、最初の10ml程度は捨てて下さい。混合不良のため硬化しない場合があります。
- 内容物が残った場合は、ノズルを取り外し、口部の液をふき取り、2液が混ざらないようにキャップをして保存してください。
- カートリッジの温度が低くなると吐出抵抗が大きくなりますので、暖めて使用してください。(ただし40°C以上には絶対にしないで下さい。)無理に吐出すると、カートリッジ及びガンの破損の原因となります。

## 施工手順



### ① 穿孔

ドリルビットにマーキング

### ② 孔内清掃

ブロアー(吸塵機)→ブラシがけ→ブロアーの順で孔内の切粉を除去する

### ③ 注入

ノズルを孔底まで差し込み、孔底側からエアがかまないように注入する

### ④ ボルト埋込

エアがかまないようにアンカー筋を手でゆっくり回しながら孔底まで挿入する

### ⑤ 硬化養生

所定の硬化時間内(次項表参照)はアンカー筋を動かさないで下さい

※上図はハンマードリルで施工する場合のものです。

### 施工上の注意

- ハンマードリルで施工した場合、穿孔後、ブロワー→ブラシがけ→ブロワーの順に確実に孔内の切粉を除去してください。
- コアドリルで穿孔した場合、穿孔後、ブラシと流水で切粉(ノロ)をきれいに除去してください。孔壁にノロ等が附着していると、強度が著しく低下します。

## 可使時間と硬化時間

温度	-5°C	0°C	5°C	10°C	20°C	30°C	35°C
可使時間	90分	45分	25分	15分	6分	3分	2分
硬化時間	24時間	12時間	4時間	3時間	2時間	1時間	45分

- ◆ 可使時間：注入開始(2液が混合された時)から硬化反応が始まるまでの時間
- ◆ 硬化時間：注入開始から荷重がかけられるまでの時間
- ◆ 可使時間内にボルトまたは、異形棒鋼の埋め込みを終了して下さい。
- ◆ 可使時間から硬化時間の間はボルトまたは異形棒鋼に触れないで下さい。

## 製品性能

使用ボルト 異形棒鋼	穿孔条件 径×深さ [mm]	必要樹脂量 [ml]		カートリッジ1本当たり の施工本数 [本]		最大引張荷重 [kN]		許容引張荷重 [kN]	
						ハンマードリル	コアドリル	長期	短期
D10	φ13 × 80L	6		61		38.5	368	7.47	11.21
M10 W3/8	φ12 × 80L	6	7	61	52			7.39	11.09
D13	φ16 × 105L	10		37		72.3	67.5	12.76	19.13
M12 W1/2	φ14 × 100L	9	8	41	46			11.45	17.17
D16	φ20 × 130L	20		18		106	101	19.58	29.37
M16 W5/8	φ18 × 130L	16	18	23	20			19.32	28.97
D19	φ24 × 155L	31		11		146	136	27.86	41.79
M20 W3/4	φ23 × 160L	33	39	11	9			29.24	43.86
D22	φ28 × 180L	50		7		205	165	37.60	56.39
M22 W7/8	φ26 × 180L	49	51	7	7			37.05	55.58
D25	φ32 × 200L	72		5		252	217	46.59	69.89
M24 W1	φ28 × 200L	64	55	5	6			45.79	68.68

- ◇ 許容引張荷重は上記穿孔条件における $F_c=21\text{N/mm}^2$ の場合のコンクリート破壊により決まる算定値です。
- ◇ M24およびD25より大きいサイズについてはメーカーまでお問合せください。
- ◇ 最大引張荷重は異形棒鋼SD345 (D10のみSD295A) での公的機関試験値で、規格値ではありません。  
(JCAAあと施工アンカー試験方法による。)
- ◇ 必要樹脂量はロス率20%での計算値です。

## 用途

- あと施工アンカー全般
- 機械基礎アンカー
- 定着アンカー
- 手摺・フェンス支持
- 差筋アンカー (L型、J型、U型)
- 機械据え付け用アンカー

## 各出荷単位

内 容 物	タイトロックⅡ本体12本 ミキシングノズル24本
専 用 ガ ン	1丁
ミキシングノズル	10本 / 袋
バッテリーガン	本体1丁、バッテリー 2個

## 保管および取り扱い上の注意事項

- 直射日光を避け、風通しのよい、温度のあまり上がらない場所に保管してください。  
それ以外に保管すると、使用期限内でも使用できなくなることがあります。
- 40℃以上には絶対にしないで下さい。
- 使用中を含め、火気や高温物に近づけないで下さい。
- 取り扱い時には、必ず保護具 (マスク、保護メガネ、手袋など) を着用して下さい。
- 樹脂が皮膚などに付着すると、炎症を起こすことがあります。速やかに拭き取り、石鹸水で洗い流して下さい。
- 目に入った場合は、直ちに大量の水道水で15分以上洗い落とし、医師の診断を受けて下さい。
- 機具類に付着した樹脂は、硬化する前にシンナー類で拭き取って下さい。
- カートリッジの保管は、ノズル取付部を上にして、立てて保管して下さい。

製造・発売元

### 前田工織株式会社

東京本社 / 〒103-0005 東京都中央区日本橋久松町9-9  
東京営業部 SCI日本橋ビル 5F  
TEL.03-3663-9936 FAX.03-3663-9930

福井本社 / 〒919-0422 福井県坂井市春江町沖布目38-3  
TEL.0776-51-3535 FAX.0776-51-3545

福井営業部 / 〒919-0422 福井県坂井市春江町沖布目38-3  
TEL.0776-51-9200 FAX.0776-51-9236

大阪支店 / 〒541-0041 大阪市中央区北浜2丁目3-6  
北浜山本ビル 2F  
TEL.06-6201-0313 FAX.06-6201-0668

札幌支店 / TEL.011-733-3360 FAX.011-733-3365

仙台支店 / TEL.022-726-6670 FAX.022-726-6671

新潟支店 / TEL.025-281-7211 FAX.025-281-7212

名古屋支店 / TEL.052-769-3531 FAX.052-769-3532

広島支店 / TEL.082-262-5555 FAX.082-262-5565

四国支店 / TEL.089-998-3577 FAX.089-998-3511

福岡支店 / TEL.092-919-5155 FAX.092-919-5150

盛岡営業所 / TEL.019-606-3386 FAX.019-606-3078

沖縄営業所 / TEL.098-860-3404 FAX.098-860-3418

富山事務所 / TEL.076-431-6511 FAX.076-431-6522

岡山事務所 / TEL.086-805-0355 FAX.086-805-0357

<http://www.maedakosen.jp>